



かつらお胡蝶蘭合同会社
すきした ひろ すみ
杉下 博澄さん

“希望”の花に 葛尾の復興を託して

「かつらお胡蝶蘭合同会社」は、地域の農業の再生と、住民の生活基盤の再建を目指して、2017年に設立されました。立ち上げ当時から事業に携わる杉下さんも葛尾村の出身。東日本大震災がきっかけとなり、「ふるさとのために何か自分にできることをしたい」という思いから、胡蝶蘭の栽培に取り組んでいます。

葛尾村産の胡蝶蘭に付けられた商標は「hope white」。「福島から発信する胡蝶蘭が希望の花となるように」との願いを込めて名付けられました。「まだ栽培を始めて2年目ですが、他の産地と比べても引けを取らない品質になっていると思います」と、杉下さんが言う通り、栽培された胡蝶蘭は、大ぶりで花びらが厚く見栄えがすると、市場関係者や購入した方からの評判も上々。品評会に



▲天候に左右されにくく重労働が少ないため、シニア層も活躍中。「花と接すると穏やかに仕事ができます」
◀毎月4000株の苗を仕入れ、約半年をかけて製品化。現在、6割ほどが首都圏へ向けて出荷されている。



おいても、復興大臣賞やさいたま県知事賞に輝くなど、高い評価を受けています。今後は品質に一層の磨きをかけ、会社として地域に還元していきたいと意気込む杉下さん。
「胡蝶蘭はお祝いに欠かせない花。贈る人の気持ちに寄り添い、“希望”を届けられたらうれしいです」

【問い合わせ】
かつらお胡蝶蘭合同会社
☎0240(37)4380